

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

あゆみの森共同保育園

当園は、昭和40年に認可外保育園としてスタートし、5年前に認可保育園となりました。自然環境を生かした「生きる力を育む保育」を目指して保育実践を行っています。

NPO法人から社会福祉法人に変更したことを契機に、より広い視点での保育実践と運営の在り方へ成長していきたいと考え、今回の第三者評価に参加をすることを決意しました。

初めての他者評価ということで、長い認可外時代の保育をどう評価されるのだろうと、不安や葛藤がなかったわけではありませんが、事前に全職員で日常の保育を見直し、自己評価を何度か繰り返し話し合いを行ったことで、当園の保育の見直しや改善点の気づきを多く得られる事が出来ました。また、実施評価における指導やアドバイスなどから、まだまだ気づきの視点が不足していた事を改めて学ばせて頂きました。

園の環境を生かした特色ある保育のあり方に自信を持つだけでなく、子どもたちの体と心を健やかに育む具体的な視点が、職員間で共通理解へつながったことは、今後の保育運営の改善に大変有意義な事であったと感じています。

外遊びが多い当園の特色の中で見落としがちであった、出入りの衛生指導は開始しています。また、全保護者の個人面談を3月に計画をしています。

今回、評価いただいたこと、指導いただいたことを真摯に受け止め、全職員の共通認識としていくことで、これまで以上に保育に精進していきたいと考えています。

第三者評価事業に参加させて頂きありがとうございました。今後も、園と保護者地域が手を取り合いながら、共に学び合い、共に育ちあえるよう努力、精進してまいります。